

## 音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	令和2年度第3回音更町総合計画審議会
開催日時	令和2年8月27日（木） 午後6時25分から午後8時05分
開催場所	音更町役場 3階特別会議室
委員出席者	阿部委員、大庭委員、岡田委員、岡庭委員、小川委員、梶谷委員、河田委員、古川委員、白木委員、土田委員、東端委員、西川委員、野久委員、野村委員、畠委員、波多野委員、林委員、藤川委員、三上委員【計19名】
町側出席者	鈴木総務部長、荒井町民生活部長、重松保健福祉部長、傳法経済部長、下口谷建設水道部長、岸本会計管理者、八鍬教育部長、重堂企画課長、深谷財政課長、佐藤総務課長、木谷情報・防災課長、松井町民課長、原環境生活課長、早苗農政課長、山本商工観光課長、井原都市計画課長、高瀬土木課長、田村建築住宅課長、平賀上下水道課長、藤原学校教育課長、宮田生涯学習課長、佐藤文化センター館長、川瀬図書館長、加藤スポーツ課長、高山音更消防署長【計25名】 ≪事務局≫渡辺企画財政部長、新名企画課参事（総合計画策定）、大井企画調整係長、田中同主任、松本同主事、津久井まちづくり政策推進員【計6名】 ≪委託事業者≫株式会社道銀地域総合研究所・北嶋業務部長、柿田主任研究員【計2名】
議題・諮問内容	1 会長あいさつ 2 議案 （1）分野別基本計画調書について 3 その他
会議資料	「分野別基本計画調書」
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>■ 分野別基本計画調書について&lt;第2章&gt;</p> <p>委員：【分野3 ごみ・し尿収集処理】不法投棄対策として、町は迷惑防止条例を検討しているか。</p> <p>事務局：新たな条例化までは考えていないが、定期的なパトロール、不法投棄禁止の看板設置、広報紙による周知を行っている。また、不法投棄は犯罪であるとの項目を盛り込んだ「ごみ分別の手引き」を配布する。</p> <p>委員：【分野6 消防、防災】避難所において、男女共同参画の視点を取り入れることや、外国人や障がい者へのサポート体制は整備されているか。</p> <p>事務局：避難所には保健師を含めた町職員と女性の消防団員を配置する。また、感染症対策のため保健課の職員も配置するようにしている。なお、町内には一定程度の外国人がいるため、それらの方々を想定した対応をしていきたいと考えている。町では「おとふけ男女共同参画プラン」を策定しているが、避難所における男女共同参画の視点についても、反映していく必要があると考えている。</p> <p>委員：災害時の男女共同参画の視点、外国人や障がい者への災害時の対応は大きな課題である。ぜひ取り組んでいただきたい。</p> <p>委員：【分野2 景観】道には「北海道屋外広告物条例」があるが、道と協議しながら、音更らしい景観づくりのため、看板等の規制を行ってはどうか。</p> <p>事務局：音更町は、道の条例に準じて対応してきているが、景観に関する計画を策定している先進地の事例について勉強していきたいと考えている。</p>

委員	<p>十勝川温泉においてホテルの看板の見直しをしたところ、ホテルの場所が分かりにくくなったとの意見もあったが、一方で、すごく景観が良くなったとの意見の方が多かった。看板の大きさ、取り扱う色などについて検討し、個性ある音更町の景観づくりをしてほしい。</p>
委員	<p>【分野11 火葬場、霊園、合同納骨塚】合同納骨塚の整備について、もう少し詳しい説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>合同納骨塚の整備については、これまで議会において何度も質問・意見をいただいているほか、町民からも一定の要望がある。また、まちづくり懇談会などでも意見をいただいているところである。このことから町は、合同納骨塚には相当数の町民ニーズがあると考え、平成29年2月には、音更霊園内に公設の合同納骨塚を整備する必要があるとの考えをまとめたところであるが、議会からは地元の意見を聴き、時間をかけて慎重に検討すべきというご意見をいただき、また、霊園の地元からは、町に対して建設反対の意見書が提出されたところである。合同納骨塚に対しては様々な意見があり、町としても大変重要な問題であると捉えている。このため町としては、本審議会のご意見をお聞きしながら、また、議会の議論なども踏まえ、今後の合同納骨塚の位置づけについて検討を進めたいとの考えから、基本計画に掲載したところである。</p>
委員	<p>今の説明のとおり、共同墓地に対する町民からの要望は、かなり多くなってきていると思うが、これを検討するという表現で本当にいいのか。もう一歩踏み込んで整備するという表現も必要ではないか。</p>
事務局	<p>公設の合同納骨塚の整備について調べたところ、道内では現在34市町村において整備されている。これらは住民ニーズに応えるために整備が進められてきたものと考えている。また、管内では帯広市が整備済みであり、池田町にも同様の計画があると聞いている。整備について検討するという表現については、合同納骨塚を整備することを前提とし、今後その整備内容などを検討するという意味で記載しているものである。表現的には少し弱いと思われるかもしれないが、内容的には整備を前提としているため、担当としては同じ意味合いと考えている。</p>
委員	<p>現在、帯広市を含めて十勝管内には合同納骨塚を運営しているところがたくさんあり、音更町が整備することで、その人達の仕事を取っていいのかということもある。また、多くの意見をいただいているとの説明であるが、町が整備しなければならないというニーズをどれだけ把握しているのか。実際の町民ニーズがどの程度あるのかということ踏まえると、整備するという方向で進むよりは、調査してからもう少し慎重に進めた方がいいのではないか。実際に町で運営するとなると、いろいろな部分で制約などもたくさん出てくると思う。</p>
事務局	<p>整備を前提にとの発言をさせていただいたが、整備を前提とした検討には、ご指摘の発言内容も包含されるものと思う。いただいたご意見も参考にしながら検討したい。</p>
委員	<p>合同納骨塚については、丁寧かつ慎重に、議論を進めていただきたいと思う。また、以前、新聞報道があったと思うが、合同納骨塚を整備する場所などについて何かお考えがあれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>平成28年当時、音更霊園内に整備をしたいということで議会に説明したが、地元からの反対意見があった。こうしたことから、音更霊園内に合同納骨塚を整備ということではなく、まずは合同納骨塚の総合計画における位置付けについて、ご議論をいただきたい。音更霊園内での整備については議会から2回にわたり慎重に進めるべきとの意見をいただいている。このため、音更霊園内で合同納骨塚の整備を進めるには、やはり地元のご意見を丁寧に聴いていく必要がある。総合計画の中では場所の特定までには至らないと考えられるが、まずは合同納骨塚の必要性を計画に位置付けて、場所については、音更霊園内には反対もあるが、霊園も含めた町内のどこかでという扱いにしなければ議論が進まないものとする。今後においても、場所を特定する際には最大限の努力をしていきたい。</p>

委員	<p>合同納骨塚に対しては個々に様々な意見があり、整備も含めて慎重に検討していかなくてはならないと思う。今後、10年先を考えると整備・検討は必要だと思うが、その場合、自然の流れとして、設置場所の候補には音更霊園が出てくると思う。</p>
事務局	<p>自然の流れで音更霊園という意見をいただいた。音更霊園は昭和45年に供用を開始したところである。以前、町内にはいくつもの霊園があったが1つに集約した。その整備に当たっては、地元のご協力、ご理解をいただいた経緯がある。このため、霊園は音更町の土地であるが、霊園内での整備に対しては、他の公共事業同様に、地元のご理解、ご協力が必要であると考えている。</p>
<p>■ 分野別基本計画調書について&lt;第3章&gt;</p>	
委員	<p>【分野2 義務教育】学校へ行けない子どもが増えていると聞くと、その現状は。また、不登校対策としてどのような支援をしているか。</p>
事務局	<p>不登校の現状について、数字的には増えている状況にある。対策としては、学校と家庭との密な連携を図るほか、支援等としては、スクールソーシャルワーカーと子ども・保護者との相談等を根気強く行っており、心が通じ合うような形で対策をとっていきたいと考えている。また、「ふれあい教室」を通じて、今後にもつながるような形で支援をしている。</p>
委員	<p>不登校の子どもたちがきちんと教育を受け、社会につながっていくよう対応をよろしく願いたい。</p>
事務局	<p>現在も取り組んでいるが、今後も学習環境を整備し、学校と教職員、教育委員会が親身になって対応していく。継続して対応していきたい。</p>
委員	<p>【分野3 高等学校、高等教育】音更高校の生徒数減少により間口減が懸念されている。同校の地理的条件がハンディキャップとなり生徒数の減少につながっているものと思うが、地元の生徒が地元の高校に通えない現状を踏まえると、私立高校の誘致を検討してはどうか。人口的にも町内に私立高校があってもよいのではないか。</p>
事務局	<p>音更高校は平成11年に建て替えており、場所について、どこかへ移転というのは難しいものがある。私立高校誘致の話はこれまでになかったが、ある程度要望が高まってきたら、議論としてはあり得ると思う。</p>
委員	<p>【分野5 生涯学習】生涯学習の受講者が減少している。例えば、健康長寿を目指すため、生涯学習とスポーツを融合した講座を開催してはどうか。</p>
事務局	<p>生涯学習のメニューには、健康に生活していただくため、運動、スポーツも取り入れている。今後は様々な年代を融合した活動の機会も必要と考えている。</p>
委員	<p>【分野5 生涯学習】生涯学習におけるリーダーバンク制度の活用状況は。</p>
事務局	<p>新規登録者はいるが、活用については周知が不足している状況にある。リーダーバンク制度は、町民との協働による協力者を増やし、生涯学習の推進に有効活用できることから、今後も充実・拡大に向けて進めていきたい。</p>
委員	<p>リーダーバンク制度には、こういった分野の人に登録してほしいか働きかけをした方がいい。また、登録をすると冊子には掲載されるが、今後は周知のために広報でも紹介してはどうか。</p>
事務局	<p>今後の制度活用について、庁内のほか、社会福祉協議会などの関係機関と検討させていただく。</p>

	<p>委員 : 【分野6 社会教育】新しい図書等の充実も重要だが、インターネットの時代に図書への関心を高めるためには、電子図書の充実も進めていくべきではないか。</p> <p>事務局 : 学校をはじめ、生涯学習、スポーツ、図書館などにおいて、新型コロナウイルス感染防止対策を念頭に置いた学習活動が必要になってくることから、その一環として電子図書導入も検討課題になると考えている。今後、どういった形で進めたらよいか、費用面なども含めて、総合的に課題として取り組んでいきたい。</p> <p>■ 目標指標について</p> <p>委員 : 町民アンケート調査結果を目標指標としている部分があるが、普通より上の設定であれば100%に近い目標値にしてはどうか。過大な目標値であるなら、中間で見直しをしてはどうか。初めから低い目標設定はどうかと思うので検討してほしい。</p> <p>事務局 : 目標指標は一定の根拠をもって設定することが基本である。現段階では担当課から出された指標を全て掲載しているため、ここから絞り込みを行うが、その際には、中間見直しがあることも踏まえ、ご指摘の意見も参考に進めていきたい。</p> <p>委員 : 目標値は各項目において望ましい姿、目指すべき姿が表されるものである。アンケート調査結果の満足度を指標とすることは致し方ないと思うが、できれば満足度ではない具体的な目標値がある方が分かりやすいと思う。</p>
--	---